

の人間のうち七五パーセントが西洋以外の文化をもつて生存しているのである。地理的

の学を除外するには単に社会科あるいは地理の学習でプリントした地図に地名の書き込みをさせたり「かわっている」「奇妙な」国の風習をおもしろくはなしたりするだけでは足りない。

又皮膚の色も宗教も言葉も、生活様式や価値感の全く異った人びとを黙認し寛大に扱うというだけでは足りない。根本的には人間と資源および地球上におけるそれらの配分についての大きい関心がよびさまされなければならぬ。地理学には一つの重要な課題がある。

すなわち、なぜ、そしてどのようにして、あるか所が他の所と類似したり相違したりするか、この答を得るためには地球上の資源に関する配分や人間と人間の働きなどについて克明な分析が必要である。

氏は人類の地球上における生活には千差万別の型があるが、これらに「善い」「悪い」はない。このような型も人間それぞれの基本的要求から出たものであり、これらの底には驚くばかりの共通点がある。子どもたちにこの共通点と相違点を理解させ、彼らがその真

価を認知するようにならなければならないと説いている。

「他人の自我——世界中の人びと——を受入れて」と題するニューヨーク州立大学のケンワシー氏の講演の概要が出ている。これは一九六四年ACEIの研究大会でなされたものである。この中でケ氏はわれわれの世界の隣人とは誰か？ 世界の人口の大半はアジアに住んでいる。非白人種で百姓や漁業に従事している人が多いが昨今都会へ流れ込む傾向がつよいと述べている。

同氏は世界の人びとのことについて学ぶ理由として経済的、政治的、に相互関連をもっていること、他国人の目からみた本国、又国外から自分の国を見る時に深く教えられること、他の国の人々の思想を知り、交流することとは人生を豊かに楽しくすることなどをあげている。又個人個人が安定感を持ち、人間の価値に対して基本的な信頼感をもち、相手国に関する知識を求め、共通の経験を味わうようにと述べている。こうした配慮は幼児期から行なわれなければならないと強調している。

(K)

幼児の教育 第六十四巻 第十一号

十一月号 © 定価六〇円

昭和四十年十月二十五日 印刷

昭和四十年十一月一日 発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館
振替口座東京一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。